

特集 後期学校評価

児童 A=そう思う B=大体そう思う C=あまりそう思わない D=そう思わない

教職員 保護者 A=よく出来ている B=大体出来ている C=あまり出来ていない D=出来ていない

後期の「学校評価」実施の結果をお知らせします。これからも子どもたちにより良い教育活動を行うことができるよう、いただいたご意見を生かしながら、学校運営の改善と発展を目指し、励んでいきたいと思います。

(母数は1・2年410 3~6年789 保護者1021となっています。)

	評価内容（児童）	1・2年児童		3~6年児童		評価内容（教職員）	教職員	
		A+B	C+D	A+B	C+D		A+B	C+D
1	学習のめあてが分かり、学習課題を立てることができる。	94	6	85	15	学習のめあてが分かるように指導している。	95	5
2	司会をして学習を進めることができる。	93	7	82	18	子どもが司会をして、学習を進めることができるように指導している。	61	39
3	相手の考え方や意見を聞き、質問したり意見を述べたりすることができる。	84	16	75	25	相手の考え方や意見を聞き、質問したり意見を述べたりしてグループで話し合うことができるよう指導している。	90	10
4	目的に合わせて、自分のおもいや考え方を書きまとめることができる。	92	8	85	15	学習過程を大切にして、思考表現力を高めるような授業を進めている。	80	20
5	先生は、分かりやすく最後まで教えてくれる。	97	3	90	10	分からないところは分かりやすく最後まで教えている。	76	24
6	先生は、提出したノート等に○をしたり、間違いを直したり、コメントを書いたりするなど、ていねいに見てくれる。	99	1	91	9	子どもたちのノートや作品、ワークシート等には、○をつけたりコメントを入れたりするなど、ていねいに見ている。	66	34
7	生活科（低学年）・総合コミュニティ（かがやき）（3~6年）の学習は好きだと思っている。	94	6	85	15	生活科や総合コミュニティ（かがやき）の学習で、学習素材のよさを生かして、意欲的に学習できるように指導を工夫している。	88	12
8	学校を好きだと思っている。	92	8	88	12	子どもたちが楽しく学校に来ることができるよう工夫している。	88	12
9	ごしょみみなみ（ごあいさつ・しっかり片づけ・みんなかよく・名札をつける・右側を歩く）のやくそくを守っている。	92	8	85	15	ごしょみみなみのやくそくを意識して指導し、実現できている。	86	14
10	自分に自信があり、自分を好きだと思っている。	82	18	80	20	自分に対する肯定感をもつなど、自尊感情を育てる指導をしている。	84	16
11	学校の先生は、自分のことをよく分かっている。	79	21	84	16	子どもの様子をよく見たり、話しかけたりして子どもを理解する努力をしている。	93	7
12	自分は、家族や先生・友だちに大切にされている。	96	4	92	8	子どものことについて連絡を密にするなど、保護者と連携して指導するようにしている。	63	37
13	交通ルールを守っている。	97	3	93	7	交通安全指導に取り組んでいる。	83	17

評価内容（保護者）

学校に対して			A+B	C+D	学校に対して			A+B	C+D
1	考えたことを表現するような授業を進めている。	95	5	7	学校の教職員は、質問したり相談したりしやすい。	90	10		
2	分かりやすい授業を目指して学習の進め方を工夫している。	95	5		保護者として			A+B	C+D
3	子どもたちのノートや作品、ワークシート等には、○をつけたりコメントを入れたりするなど、ていねいに見ている。	94	6	1	子どもの生活のリズムを大切にし、早寝・早起きができるようになっている。	73	27		
4	子どもの実態や課題に応じて、一人一人を大事にした学級経営を行っている。	87	13	2	子どもから学校や友達の話をよく聞くように努力している。	91	9		
5	子どものことについて連絡を密にするなど、保護者と連携して指導するようにしている。	88	12	3	時間を決めて学習したり集中して学習に向かうことができるようになるなど子どもに学習の習慣がつくようにしている。	75	25		
6	学校は、学校だより・ホームページ等で学校の様子を積極的に伝えている。	92	8	4	参観・懇談会等、学校の行事には、できるだけ参加するようしている。	72	28		
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
					5	子どもが交通ルールを守るようにしている。	94	6	

平成25年度の成果と課題～新年度に向けて

☆改善された点 ★今後も改善が必要な点 ○今後に向けて

児童

☆司会をして学習を進めることができる
自分で司会をして学習を進めていく力がついていると考えている子どもも、前期と比べると低学年では2%増え、中高学年ではほぼ同じである。1年間を通して、主体的に学ぶ姿勢が定着し、学習への意欲につながってくることは嬉しいことである。

★発言力
質問や意見を述べることについて低学年では改善は見られたが、まだ苦手だと感じている児童も多い。

○司会を立てて学習することができていると考える児童が多いので、今後は話し合いの方法や内容について、改善できるようにしていきたい。児童に発言力がついたと実感できるように、指導の改善が必要である。できたことをしっかりと認め、児童の自信につながる工夫も大切にしていきたい。

教職員

☆思考表現力・探究力・司会力

本年度重点的に取り組んできたので思考表現力や探究力を高めるための授業改善を進めることができた。また、司会力をつける指導は、教職員の共通理解のもとで取り組めたが、今後も取組を進めていきたい。

★保護者との連携・規範意識の育成

保護者と連絡を密にとれていないと感じている教職員がいる。

○教職員と保護者が共に協力して子どもを育てることが大事であることを確認し、信頼関係を深めていくことが大切だと考えている。

参観日や学級懇談会などの機会を生かすなど、連携できるための方法を工夫していきたい。保護者の方々にもできるだけ懇談会などに多数参加してもらうようにお願いしたい。

保護者

☆子どもの話をよく聞く

子どもの話を家庭でよく聞くように努力する項目が前期よりも増えている。子どもたちは、保護者の励ましや声かけによって、安心したり自信をもつたり自分の課題を取り組んだりすることにつながるので、大変ありがたい。

★一人一人を大切にした学級経営 早寝・早起きの生活習慣

一人一人を大切にした学級経営に課題があると感じている保護者が増えている。早寝早起きの習慣については、後期は前期よりも4%であるが下回っている。

○子ども一人一人を大切にする教育はこれからも大切にしつつ、担任一人ではなく、学年や学校体制で指導する協力指導等もできるようにしていきたい。

早寝・早起きは家庭の生活時間とも関連しているので、学校でも子どもたちに働きかけながら家庭と連携していきたい。